

平成 30(2018) 年 3 月 13 日 (火) 12:00~13:00

関西大学千里山キャンパス 第 4 学舎 4 号館 1F 4101 室

公益社団法人化学工学会

粒子・流体プロセス部会 2017 年度年会幹事会議事

■出席者 鈴木, 太田, 後藤, 山本, 松隈, 庄野, 岩田 (委任状), 桑木, 加納, 谷口 (委任状), 今中, 酒井, 中里 (委任状), 瀬戸, 大村, 三好 (委任状), 坂倉, 梶原, 鷺見, 菰田, 日出間 (21 名)

1 前回幹事会議事録の確認(部会長神戸大学：鈴木)

2017/9/20 開催の粒子・流体プロセス部会 2017 年度秋季大会幹事会の議事録 (承認済, 配布資料 p.3-p.5) が承認された。

2. 部会長会議報告 (部会長神戸大学：鈴木)

第 18 回 APCChE 会議 (アジア太平洋化学工学連合会議) APCChE 2019 について (承認済, 配布資料 p.6-p.7), 部会長会議での議論が報告された。

3. 2017 年度分科会配分: 2017 年度会費収入と未収状況 (神戸大学：菰田)

配付資料 p.8 に基づき, 会費の収入および未収状況, 2017 年度の追加配分額(来年度配分)について報告された。事務局の黒字額が多いため, 20 万円を国際会議開催用の特定資金として, 計上することが承認された。

4. 2017 年度部会・分科会活動報告 (部会長神戸大学：日出間)

配付資料 p.9-12 に基づき, 2017 年度部会・分科会活動報告がなされた。本部へ報告の必

要があるため, 2017 年度開催の活動の参加者数について, まだ報告していない分科会には, 報告を依頼した。

5. 2017 年度決算 (神戸大学：菰田)

配付資料 p.13-15 に基づき, 2017 年度の会計監査および決算について, 報告された。監査の九州大学・梶原より, 決算が妥当であることが報告された。

6. 2018 年度事業計画 (神戸大学：日出間)

配付資料 p.16-17 に基づき, 2018 年度事業計画について, 報告された。予定として本部に提出済みであるが, まだ記載のない事業については, 報告を依頼した。

7. H30 年度(2018 年度)予算(神戸大学:菰田)

配布資料 p.18 に基づき, H30 年度予算について報告され, 承認された

8. 部会継続資料について (部会長神戸大学：鈴木)

配布資料 p.19-49 に基づき, 部会継続審査に関する粒子・流体プロセス部会自己評価書

原案が報告された。修正等があれば5月末までの連絡を依頼した。

9. 部会賞について（徳島大学：太田）

配付資料 p.50 に基づき、部会賞について報告された。本年度は技術賞の応募が無かったため、積極的な応募が依頼された。フロンティア賞については、同一の研究室からの2件のみの申請であったため、今後はより積極的な応募が望まれる。

10. 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会(神鋼環境ソリューション・今中)

配付資料 p.51-p.52 に基づき、報告された。48名の参加があり、盛況であったが、バス代などに出費が多く、部会からの助成金増額(10万円→12万円)を依頼した。結果としては、5656円の黒字であったことが報告された。

11. IWPI2018 について（神戸大学：大村）

配付資料 p.53 に基づき The 6th International Workshop on Processes Intensification (IWPI2018)について報告された。日程の変更が確認された。部会長から国際会議開催に関する特定資金の利用の要請があった。

12. 2017 年度部会セミナー(東京理科大学:庄野)

配付資料 p.54-p.55 に基づき、2017 年度部会セミナーについて報告された。今回初めて、年会の会期中に開催することにした。

13. 部会横断型シンポジウムについて（部会長神戸大学：鈴木）

2018 年度秋季大会において、SIS 部会との部会横断型シンポジウムが開催されることが承認された。

14. 各分科会報告（各分科会代表）

特になし。

15. 次期部会長について（部会長神戸大学:鈴木）

次期部会長として、岡山大学後藤邦彰氏が推薦され、承認された。

16. 次期部会役員(次期部会長岡山大学:後藤)

配付資料 p.56 に基づき、次期部会役員が推薦され、承認された。

17. 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会(次期担当)

特になし

18. 2018 年度部会セミナー(次期部会長岡山大学：後藤)

次期部会長より、2018 年度も年次大会会期中の開催が提案され、承認された。

19. その他

・次期部会長より、3月16日の締め切りまでに、年鑑の執筆者推薦の依頼があった。

・次期部会長より、次年度行事準備のための、行程表に関する確認があった。各賞の、エン

トリー受付時期が確認された。

・次期部会長より、APCChE 2019 についての依頼があった。1 スロットは口頭発表 6 件となっているため、各分科会から 2 スロット程度の開催が望まれる。各分科会より、APCChE 2019 担当者を 1 名を決定するように依頼があった。2018 年 6 月までに、セッションオーガナイザーを決定する必要がある。海外からも少なくとも 1 名推薦する必要がある。Key note スピーカーについては、2 スロットで 1 名の配分で推薦する。3 名までは、本部より資金援助がある。

以上

文責 事務局 日出間, 菰田